

# Displaced People in Asia & Africa

## アジア・アフリカの 難民・避難民展

2018年9月17日[月]—2019年3月15日[金]まで

聖心女子大学4号館／聖心グローバルプラザ

主催●聖心女子大学グローバル共生研究所

特別協力●国立民族学博物館／特定非営利活動法人えひめグローバルネットワーク

※平成30年度国立民族学博物館

公募型メディア展示事業

||| 入場無料 |||



特設展示

### 武器をアートに

Transforming Arms into Art

～2019年4月27日(土)まで

ケスター作《肘掛椅子》2012年 国立民族学博物館蔵

※写真の《肘掛椅子》は2018年9月17日から2019年4月27日までエントランスにて展示します。  
※2018年10月31日から2019年3月15日まで関連する小アートやパネル、映像作品を展示します。

聖心グローバルプラザ  
**BE\*hive**  
展示 + ワークショップスペース

聖心女子大学  
**グローバル共生研究所**  
Sacred Heart Institute for Sustainable Futures [SHISF]

150-8938 東京都渋谷区広尾4-2-24  
聖心女子大学4号館／聖心グローバルプラザ  
phone : 03-3407-5811 (大学代表)  
e-mail : kyosei@u-sacred-heart.ac.jp  
HP : <http://kyosei.u-sacred-heart.ac.jp/>



# Displaced People in Asia & Africa

## アジア・アフリカの難民・避難民展



展示とワークショップの場であるBE\*hiveでは  
およそ2年ごとにテーマを設定し、半年ごとに小テーマを変えています  
みなさまが繰り返し来訪し、出会いと学びを深めていただけることを期待します  
今回の展示テーマは、「アジア・アフリカの難民」です  
ここでは、タンザニアにあるニャルグス・キャンプと  
 Bangladesh のロヒンギヤ・キャンプに暮らす人びとの様子を展示しています  
店を開き、日雇で労働し、子育てなどをしながら  
難民キャンプに暮らす人びとは、日々をたくましく生活しています

難民と私たちとは、なにが異なっているのでしょうか？

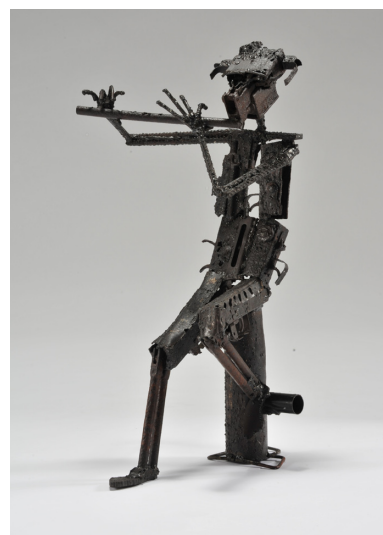
本展示では、地域の民具、楽器やマーケットの様子などを紹介しています

- 1) 東アフリカ・タンザニアのコンゴ・ブルンジ難民についてのパネル
- 2) メディア展示による「東アフリカに生きる人びと」の写真・動画
- 3) Bangladesh のロヒンギヤ難民についてのパネル
- 4) メディア展示による「ロヒンギヤ難民の現状」の写真・動画
- 5) 特設展示では「武器をアートに」をご覧ください

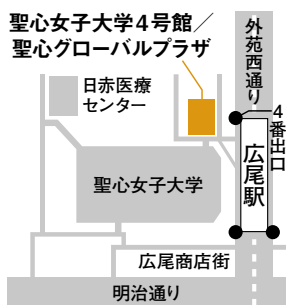
### 特設展示 武器をアートに

特設展示「武器をアートに」では  
武器で作った6つのアートを紹介します  
アフリカ南東部のモザンビークでは  
独立後の内戦で国外から大量の武器が流入しました

1995年  
その武器を鋏や自転車などの生活用品と交換した  
「銃を鋏に」プロジェクトと呼ばれる回収運動が  
モザンビーク国内で始まり  
そこで回収された武器の一部を使って  
同国のアーティストが武器アートを制作しました  
これらの作品をとおして  
困難な状況にただ甘んじるのではなく  
自分たちの未来を作り出そうと平和を希求し  
力強く生きようとするアフリカの人びとの様子を  
感じていただければと思います



サントソ作《フルーツを吹く男》2012年  
国立民族学博物館蔵  
※《肘掛椅子》は9月17日から、  
他5つの小アートは10月31日から展示します。



●東京メトロ日比谷線「広尾駅」  
4番出口 徒歩1分

聖心グローバルプラザ  
BE\*hive  
展示 + ワークショップスペース

聖心女子大学  
グローバル共生研究所  
Sacred Heart Institute for Sustainable Futures [SHISF]

150-8938 東京都渋谷区広尾4-2-24  
聖心女子大学4号館/聖心グローバルプラザ  
phone : 03-3407-5811 (大学代表)  
e-mail : kyosei@u-sacred-heart.ac.jp  
HP : <http://kyosei.u-sacred-heart.ac.jp/>